

ひらつか

クリスマスケーキを 彩る洋菓子

代官町にある洋菓子店「アンセプス」では、クリスマスに向けたケーキ作りが山場を迎えようとしています。かわいらしいデコレーション、広がる甘い香り、滑らかな食感…。クリスマスを迎える家庭に幸せを届けるケーキには、一つ一つに作り手の思いが込められています。



目次

1～3面…**特集** 平塚の洋菓子…市内にある洋菓子店5店舗などを紹介します。
4～7面… 募集・健康と福祉・お知らせ・スポーツ
「子どもの健康」「お知らせ掲示板」

8面…「写真リポート」「次回納期の市税・手数料」
「フォト歳時記」「市長こらむ」
広報ひらつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけます。
スマートフォンアプリ「マチイロ」からもご覧いただけます。



厳選した素材のハーモニー

「創業から5年たった平成8年に、地域に根付く商品を作りたいという思いから生まれました」とアンセプスの代表取締役、岩崎裕幸さんは話します。創業25年を迎えた同店の人気商品「湘南ポテト」は湘南ひらつか名産品にも選ばれています。「戦時中、空襲で大きな被害を受けた平塚では、サツマイモを植えて戦後復興を支えたと、当時を知る方から聞いたことがありました。それをヒントに開発したのが湘南ポテトです」。



(上)ラスカ平塚1階でも販売する湘南ポテト。1日約320個を作ります
(左)サツマイモに溶いた卵黄を塗る岩崎さん。最高の味をお客さんに届けるために、自らもキッチンに立ち、今も作り方を追求しています

「天候不順などの影響でいい材料を仕入れることが難しい時もあります。それでも、胸を張って『おいしいですよ』と薦めるためには、お客さまに見えないところにもこだわらないといけませんから」と力を込めます。「毎日同じ条件下で作れないことが洋菓子作りの面白さです」と岩崎さん。洋菓子作りは、気温や湿度、さらには季節によって材料の質が変化します。「それでも自分の経験を頼りに作りあげないとプロではありません。工夫を加えながら仕込みも作り方も飾りつけも、ひと手間かけるのが洋菓子なんです」とほほ笑みます。

問 代官町14-2 アンセプス ☎21-6566



平塚の洋菓子

市内の洋菓子店では、地域になじみのある商品作りを通して洋菓子の魅力を伝えています。今回は、湘南ひらつか名産品を作る店舗や、地域イベントで活動している店舗を紹介します。

問 商業観光課 ☎35-8107



ビキニやおうちに様変わり

「スタッフとの雑談の中で『これって水着を着ているように見えるかな?』と軽い気持ちで発案したんです」と語るのは、マ・コピーヌのオーナーパティシエ、松元しのぶさん。同店のビキニクッキーは洋菓子店の売り上げが落ちる夏の目玉商品として8年前から販売。平塚の海にピッタリのビキニクッキーは、今年10月に全国逸品セレクションのフード部門で準グランプリを受賞しました。「日に焼けた肌をイメージして、通常のクッキーよりも少しこんがり焼いています。それがまた香ばしくて味も抜群なんです」。毎月第2日曜日に湘南海岸公園(高浜台34-1)で開かれるSunSunマルシェでは、ビキニクッキーをはじめとした同店の商品を求めて、市内外から多くのお客さんが訪れます。

また、今年2月に平塚の逸品セレクションでグランプリを受賞したオーストリアの伝統菓子、リンツァーや、平成16年のオープン当初から毎年クリスマスシーズン限定で販売する「サンタのおうち」も、多くの方



雪に見立てた砂糖でデコレーションしたサンタのおうち



クッキーに砂糖で水着を描く松元さん

に好まれていきます。クッキーでできた「サンタのおうち」は孫への贈り物として買う方が多く、昨年は150台が即完売する人気ぶりです。「大人は『壊すのがもったいないね』と言います。でも、子どもは壊すことが楽しいみたいです」と松元さんはほほ笑みます。誰もが子どものころに夢見た、おとぎ話に出てくるようなお菓子の家。同店ではおいしさに加え、見た目でも楽しませることにこだわっています。

お菓子がつなぐ思い

同店では、お菓子作り教室を開き、お菓子の魅力を発信しています。夏休みに開くアイシングクッキー教室や、八幡小学生がさまざまな職業体験をする「ぶちやわた」では、子どもたちがパティシエの格好をして、クッキーにデコレーションをします。「子どもたちは発想が自由で、のびのびと作りま

す。本当に楽しそうに作るので、教える自分もやりがいがありますよ」と話します。贈り物としても定番の焼き菓子。松元さんは創業当時から、来店するお客さんのために、パティシエとして何ができるのか、自問自答を繰り返してきました。「贈り物を買うお客さまは『大切な人がどんな笑顔をしてくれるんだろう?』と思いつきながらお菓子の選びます。マ・コピーヌのお菓子が記念日に彩りを添え、大切な方への真心を伝える架け橋となれば、私にとっても幸せですね」と期待を込めます。

問 西八幡3-5-6 ビスキュイテリ ☎マ・コピーヌ ☎24-1822



自動販売機でいつでも手軽に

黄色の看板に緑色の文字で「湘南クッキー」と書かれた自動販売機。平塚を中心に湘南地域で約100カ所に設置され、市民にとってはなじみの自動販売機です。

昭和54年に創業した湘南クッキー。製造工程で割れづらい、デパトなどに出荷できないクッキーを東八幡の工場の前で販売してました。「当時は近所の方が買ってくる程度でした」と話す開発部の石川仁美さん。平成21年



1日に4回程度、補充しています

になると試験的に自動販売機を設置して、販売するようになり「看板も目立つし、もの珍しいこともあり、設置台数はどんどん増えていきま

たため、夜中にトラックやタクシーの運転手も買いに来ると言います。同店が販売するじゃこ瓦は、湘南ひらつか名産品にも選ばれる人気商品です。「はじめは『クッキーにイワシなんて合うの?』なんて意見が多かったですが、カルシウムも取れておいしいと評判ですよ。現在は、月に約150箱を売り上げています。『じゃこ瓦をはじめ、商品は工場直販なので、



イワシの風味が漂うじゃこ瓦

安くておいしいです。いつでも買える手軽なところも湘南クッキーの良さではないでしょうか」とほほ笑みます。 東八幡2-9-23 湘南クッキー ☎21-2041



本場で認められた深い味わい

創業40年を迎えた今も変わらないおいしさを届けるバウムクーヘン。同店が作るバウムクーヘンは、昔から愛され続ける人気商品の一つです。通常のずん胴の形とは違い、山のように盛り上がった焼き目と、ペーパースト状のアーモンドが入った生地で作るバウムクーヘン。同店が創業当時から続け



シナモンのほんのりとした香りが食欲をそそります

る作り方は、「ドレスデン風」と言われ、ドイツ東部にある都市、ドレスデンの伝統を受け継いでいます。平成26年には、ドイツ農業協会主催コンテストのお菓子部門で金賞を受賞し、本場でも認められた味です。「手間がかかります

が、豊かな風味とどっしりとした食感が好評なんです」と代表取締役の大谷佳子さんは話します。 一層一層、丁寧に焼き上げるバウムクーヘンは1本の長さ約75センチ、直径約16センチで、約3時間かけて作ります。お歳暮などとして売り上げが伸びる年末は、1日9本程度作らないと売り切れになる人気ぶりです。

ブランド洋菓子に

その他にも、同店の「West Coast 湘南はちみつラスク」は湘南ひらつか名産品に選ばれ、七夕まつりなどのイベントで記念品としても販売されています。「地道にPRして、市内では浸透してい



手作業で焼き目に山を付けます

るなど感じます」と大谷さん。年末はお歳暮として、地元のお菓子を送りたいという市民の注文も多いと言います。「市の名産品ということでも、市内企業の方から贈り物にと、依頼をいただくこともあります。地域のブランドとして認めていただいていると実感します」とほほ笑みます。「お客さまから『これ、おいしかったよ』って言われると、この上なくうれしいです。洋菓子作りには形のない魅力があるんです」と笑顔を見せます。

八重咲町24-28コンデイトライ パツハマン ☎23-5210



多彩な商品で笑顔をお届け

「洋菓子作りは作り手の気持ちを含めること」と葦の代表取締役、芦川浩さんは話します。昭和34年に洋食・喫茶店を始めた同店は、55年に藤沢市湘南台に洋菓子店をオープンしました。現在は市内に4店舗、市外に6店舗の洋菓子店を営業しています。

店頭だけではなく、インターネット販売もする同店。「湘南チーズパイ」や「五心マドレーヌ」などの人気商品は



平塚駅西口本店の店頭には約30種類の洋菓子が並びます

商品開発で感動を

「常にお客さまに喜んでいただける商品を目指しています。だからこそ新商品を開発して、お客さまに新鮮さや、おいしさを伝える努力をしなければなりません」と力を込める芦川さん

「常にお客さまに喜んでいただける商品を目指しています。だからこそ新商品を開発して、お客さまに新鮮さや、おいしさを伝える努力をしなければなりません」と力を込める芦川さん

昨年には平塚にキャンパスがある神奈川大学と共同で、足柄茶を使ったスイーツ2種を約8カ月かけて開発。「日本茶と洋菓子を組み合わせる商品はあまりありませんが、神奈川大学のイベントでは多くのお客さまに買っていただき、大変好評でした」と話します。「洋菓子は夢や楽しさを与えるものです。商品作りだけではなく、接客や店頭のディスプレイなど、総合力を高め、お客さまに感動を与えることを目指していきたいですね」。 八重咲町12-28 湘南クリエイティブガトー葦平塚駅西口本店 ☎22-1102

プロから学ぶ ケーキ作り



「スポンジは180度の温度で8~12分くらい焼いてください」

11月18日、南原公民館で開いた「みなみはら家庭教育学級」のクリスマスケーキ作り教室。葦の製造スタッフが講師を務めた同教室には、14人が参加し、クリスマスに向けた本格的なデコレーションケーキ作りを学びました。

慣れた手つきでスポンジに生クリームを塗る講師。参加者は職人の手さばきを食い入るように見つめます。参加者の松田麻里子さん(写真中央)は「たまに子どもとケーキを作りますが、形が崩れてしまいます。でもプロの方に教わると簡単にできそうですね」とほほ笑みます。

参加者は講師に各工程のポイントを教わりながら、それぞれがデコレーションケーキを作り上げていきます。ケーキ作りは手間がかかります。敬遠していたという瀬戸絹代さん(写真左)は「スポンジがふわふわしておいしかったです。スポンジは冷凍して作り置きできることが分かったので、今日教わった作り方を家庭で試したいです」と意気込んでいました。

身近な「かかりつけ医」で受診しましょう

市民病院(南原1-19-1)には、毎日多くの患者が訪れ、外来診療の待ち時間が長くなっています。自宅や職場から、すぐに行ける医療機関「かかりつけ医」を持ってみませんか。

問 市民病院病診連携室 ☎32-0015

「市民病院の外来診療は常に混雑しています。重症患者に速やかに治療ができないだけでなく、大きな病院に患者が殺到することで、近い将来、市の地域医療のバランスが崩れてしまう可能性があるんです」と病診連携室の白子嘉威主査は危機感を募らせます。「だからこそ、『かかりつけ医』を持ってほしいんです」と呼びかけます。かかりつけ医とは、日常の健康管理や初期の治療をしてくれる、身近な医師のことです。体調に変



かかりつけ医の大切さを語る武川会長

化があったときに大きな病院での受診が必要な場合は、かかりつけ医から紹介状を発行してもらい、受診できます。

🌸 かかりつけ医で体調管理が充実

地域の診療所が会員となっている、平塚市医師会の武川慶孝会長(左写真)は「自宅や職場の近くにかかりつけ医を持つと、体調に不安があれば、すぐに相談できます。医師も時間をかけて分かりやすく説明でき、病状の経過なども細かく把握しやすくなります。かかりつけの歯科医や薬局も持つと、体調管理がさらに充実します」と語ります。

「かかりつけ医で診療ができない場合は、適切な診療を受けられる大きな病院をすぐに紹介できます。大きな病院での治療が終わり、

再度、かかりつけ医で経過観察することもできるので、身近なかかりつけ医を持ってほしいですね」と続けます。「市民病院だけでなく、平塚共済病院(追分9-11)や済生会平塚病院(立野町37-1)といった市内にある大きな病院は、重症患者を優先的に診察します。まずは近くのかかりつけ医を探し、大きな病院と医療の役割を分担できるようにすれば、誰もが適切な診療を受けられるようになります」。

🌸 医療機関はウェブで検索

自宅や職場などの近くで、かかりつけ医を探したい方は「平塚市医師会」のウェブ(<http://hiratsuka-med.jp/>)をご覧ください。市内の



多くの人が列を作る市民病院

医療機関が検索できます。軽い症状や病気のかかり始めは、近くの診療所、休日や夜間のときは、休日・夜間急患診療所(東豊田448-3)へ受診してください。

🌸 大きな病院での受診は紹介状が必要

市民病院などで受診するときは、必ずかかりつけ医で紹介状をもらってください。持っていない方は、初診料とは別に初診時保険外併用療養費がかかります。また、紹介状により余分な検査などを受けることなく、適切な診療を受けることができます。

募

集

応募方法は
下段

特別支援学級の介助員

市立の幼稚園や小・中学校の特別支援学級などで子どもたちを介助します。

市内在住の20歳～65歳の方。面接は平成29年1月14日(土)。1年間の登録制です。

市販の履歴書に写真を貼り、本人が直接、平成28年12月16日(金)～平成29年1月6日(金)に、浅間町4-39子ども教育相談センター ☎36-6012へ。

市有地を一般競争入札で売却します

① 公所730-1、宅地。第1種低層住居専用地域。993・74平方メートル。参考価格4358万円

② 田村8-6370-5、宅地。第1種住居地域。859・73平方メートル。参考価格5675万円

③ 袖ヶ浜71-3、宅地。第1種中高層住居専用地域。195・13平方メートル。参考価格2547万円。

入札の条件など、詳しくは市ウェブをご覧ください。

本館4階の資産経営課 ☎21-8763や市ウェブにある申込書に必要書類を添えて、直接、平成29年1月6日(金)～20日(金)の平日、午前9時～午後5時に、同課へ。

子ども年賀状とおとな絵紙展の作品など

平成29年1月5日(木)～9日(祝)に美術館で展示する作品とスタッフを募集します。

① 作品 官製はがきサイズの年賀状と絵手紙。絵手紙の

テーマは「新春」年賀状は小中学生に限りません。

② ボランティアスタッフ 作品展・会場案内など。1月4日(水)～9日、午前9時30分～午後5時。1日でもできます。高校生以上の方。

① は作品の宛名面に氏名(ふりがな)・学年(サークルに所属している方はサークル名も)を記入し、郵送または直接、1月3日(火)までに、アドレスまたはファクス番号・活動できる日を、はがき・ファクス・メールで、〒254-0073 西八幡1-3-3 美術館 ☎35-2111 FAX 35-2741 art-muse@city.hiratsuka.jp

市民アカデミー

「災害ボランティア入門 いざというときの助け上手」助けられ上手」がテーマの連続講座です。

平成29年2月7日～3月8日の火・水曜日、全6回、午後1時30分～3時。中央公民館。40人(抽選、市内在住。初めての方を優先)。300円。

希望回だけの受講もできます。各回の詳しい内容は市ウェブをご覧ください。

講座名(希望日だけの参加は希望日も)・必要事項を、はがき(1人1枚)または直接、1月24日(火)までに、〒254-0047 追分1-20 中央公民館 ☎34-2111へ。

ひらつか市民活動ファンド

市内で活動する市民活動団体を助成金で支援します。平

応募方法

募=応募方法 (応募が必要です)

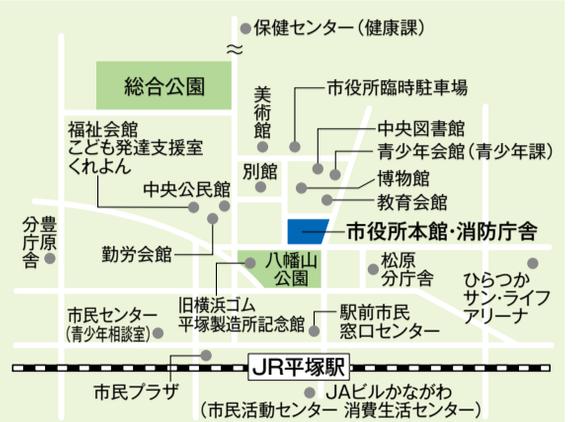
問=問い合わせ

必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。

市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます。

募集開始日の記載がない場合、12月19日(月)午前8時30分から、受け付けます。

メールの応募の場合 art-muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。



記入例

| | | | | |
|-------|--------|-------|--------|--------|
| 往復はがき | 郵便番号 | 住所 | 氏名 | 返信 |
| イベント名 | 郵便番号 | 住所 | 全員の氏名 | 電話番号 |
| 郵便番号 | 住所 | 全員の氏名 | 電話番号 | その他の事項 |
| 電話番号 | その他の事項 | 電話番号 | その他の事項 | |

若者の個別就労相談

未就労の若者を対象に個別の相談会をします。

12月21日、平成29年1月18日、2月1日、15日、3月1日、15日の水曜日、午前10時～11時・午後1時～2時・3時。1回50分。勤労会館。学校な

どに在籍していない15歳～39歳の方と保護者。

電話で、県西部地域若者サポートステーション ☎0465-32-4115

お散歩パードウォッチング

平成29年1月21日(土)午前9時30分～午後0時30分。雨天中止。相模川河川敷の馬入水辺の楽校風車前に集合。小学生以上の方、20人(先着順)。小学生は保護者同伴。お持ちの方は双眼鏡。500円。

必要事項・年齢を、往復はがきで、みどり公園・水辺課 ☎21-9852へ。

農地を借りたい・貸したい

農地の規模を拡大したい方や農業経営に新規参入しようと考えている方に、農地を、